



主題

「あなたならできる！きっとできる」
“You can do it! Yes, you can!”

— 生きる しなやかに さわやかに —
— Live flexibly and refreshingly —



アマリリスの花言葉「栄光を共に」 西日本区大会で心をひとつにしましょう。

— 熊本の地を訪ねて ワイズ・ワイズメネットの活動に感動 —

西日本区理事 遠藤通寛

熊本地震の発生より1ヶ月半が過ぎようとしております。西日本区としてみなさまにご支援を呼び掛けさせていただきまして、5月17日までに各クラブ、ワイズ個人、メネットの皆さまより1,223,861円の支援金をお預かりすることが出来ました。平成28年5月18日に熊本に入り、次期岩本悟理事に直接お渡しすることとなりました。

わずかな時間しか滞在できませんでしたが、少し皆様にご報告いたします。熊本益城空港インターよりの手前から、次の御船インターまでが渋滞しておりました。この辺りは高速道路も補修工事が間に合わず、対面通行となっております。御船インターにて岩本次期理事と合流し、熊本YMCAが指定管理を受託されて



見回りました。阪神淡路大震災、東日本大震災の様子とは少し状況が異なるように思えました。益城町の中心部は倒壊家屋が重なり合うようになっておりましたが、周辺は田園地帯が広がりブルーシートの覆いがなければ気づかないように感じました。御船スポーツセンターは、だんだん避難されている方が少なくなりつつあるようです。神戸ポートクラブの皆様の支援の様子が壁に掲載されていました。同じワイズメンとして誇りに思います。

また、益城町総合運動公園は、今後長期にわたる被災

者の皆様のための施設としての役割から、整備が進められておりました。至るところにYMCAのスタッフの皆様が、避難者の皆様のお世話をされておられました。熊本YMCA益城町総合運動公園の大久保和生所長、前西日本区連絡主事の山根一毅様に説明いただき、少し状況を知ることが出来ました。体育館のメインアリーナに張られた天幕は、避難者に少しでも快適な空間を提供しようと熊本YMCA、ワイズメンズクラブが企画したものと、5月16日付の熊本日日新聞に掲載されています。ご本人自身が被災されながらも、被災者の皆様にご奉仕される熊本YMCA・熊本地区のワイズメンズクラブにこれからもご支援を賜りますようお願い申し上げます。



自衛隊による風呂の設営

2000人を収容するこの巨大な風呂でも手狭
400メートルトラックの運動場はテントがビッシリ
張られていました。これからの梅雨、夏の日照りでは
テント生活は無理でしょう。早期の仮設住宅の竣工が
必要です。



益城町中心部は報道の通りです。



平成28年熊本地震への支援募金にご協力いただきまして、ありがとうございました。
6月15日をもって2015-2016年度の募金を締め切らせていただき、2016-2017
年度につきましては、改めてご案内させていただきます。YMCA等における募金活動につきま
しては、変わりなく継続のほど、よろしく願いいたします。

熊本を訪れたばかりの河合久
美子 Y サ・ユース事業主任より
レポートをお届けします。

熊本訪問レポート

西日本区 YMCA サービス・ユース事業主任
河合久美子

平成 28 年 5 月 27 日（金）～29 日（日）にかけて、熊本を訪問させていただきました。元々、28 日に熊本で開催されるはずの九州部 YYY フォーラムに出席させていただくつもりで予定しておりましたが、あいにく震災の影響でフォーラムは中止となりました。しかしながら、震災後の現地の状況や、ワイズメンズクラブと YMCA が協働して地域の復興に当たられている様子など、直接拝見しお話を伺いたく、予定通り訪問させていただきました。熊本では、五嶋九州部長、藤本書記、宮崎次期部長、堤次期 Y サ・ユース事業主任、阿蘇クラブ久保様ほか YMCA 職員の皆様、熊本ジェーンズクラブの皆様など多くの方々にお目に掛かり、お話を伺うことができました。ご多用の中、心より感謝申し上げます。以下にてご報告させていただきます。



《熊本市内～益城町》

熊本市内は一見して被害が分かりにくいように思えましたが、実際には数百人の方が住む家がなく、避難されているとのことでした。マンション等では見えないところにも損傷があり、建て替えが必要となる場合も多々あるとのことでした。

益城町に入った途端、風景が一転して変わります。至るところで、屋根瓦が落ちている家屋、傾いている家屋、倒壊している家屋が目に入ります。信号機も震災後 1 か月以上、警察による手信号で行われており、最近になって復旧したとのことでした。

《益城町総合体育館》



益城町総合体育館は、町の直営であったところ、2015 年 4 月から熊本 YMCA が指定管理者となり、現在避難所となっています。全国から応援に来られた多くの YMCA の方々、ワイズメンの方々、ボランティアの方々が詰めておられました。訪問時現在、1,500 人くらいの方が避難されているとのこと。この中には、体育館の中だけでなく、駐車場で車中泊をされている方、周囲のテント村で過ごされている方も含んでいます。今後、季節が梅雨や夏に移ると、室温の問題や衛生面や体力面で厳しくなるのではと思われました。体育館のメ

インアリーナには、間仕切りされた居住スペースが並んでおり、天井には YMCA やワイズメン・メネットの尽力により縫われた大きな天幕が貼られていました。落下物の防止や精神的な癒しの役割を果たしているとのこと。仮設住宅については、行政は 1,300 戸必要とっているが、実際には 2,000 戸は必要ではというお話で、年内に着工の目途が立っているのは、900 戸であるとのことでした。避難されている方が仮設に移られ、取りあえずの落ち着きを得られるまでには、まだまだ時間が掛かるものと思われました。様々なノウハウを持つ YMCA だからこそ、避難所の運営がスムーズにできているのだと思われませんが、しかしながら、お世話されている方々も、自らが被災されている中で尽力されているため、非日常な生活が続き、精神的な疲労や感じておられる閉塞感

《西原村～南阿蘇村～阿蘇市》

益城町などで亡くなる方は住宅の倒壊によるケースが多いようですが、こちらでは土砂崩れが主な原因となります。震災直後は、阿蘇周辺の道路が使えず、阿蘇は陸の孤島であったそうです。一部復旧して道路が使えるようになったので移動できるようになりましたが、メインの道路でないため（グリーンロード）、通常の3倍くらい時間がかかるそうです。阿蘇山は高さが30cmも下がり、農地も陥没で下がっていて、あちこちに亀裂が生じ、段差ができていて、フラットだった道がでこぼこになっていました。地形そのものが変わってしまったという印象を受けました。こちらには東海大学農学部がありますが、通えなくなり、校舎も倒壊しているため、学生さんは熊本市内のキャンパスで学ばれているとのこと。阿蘇神社は倒壊し無残な姿になっていました。地域住民の方は、阿蘇神社に強い信仰心を持っておられ、震災では神社が身代わりになってくれたのだという想いを持たれているそうです。



阿蘇では現在、観光客が激減しており、宿泊施設や飲食店など、休業中の会社が目立ちました。休業を飛び越えて廃業してしまうところもあるようです。流行っていた飲食店でも、土日でも3分の1くらいまで客足が落ち込んだ状況とのこと。国による救済制度や補助金などに、住民や事業者の方がアクセスしやすいような仕組みや、ボランティアで相談を受ける土業など専門家の存在が、今必要とされるのではと思われました。

《阿蘇 YMCA》

阿蘇キャンプ場では、震災時、食材を地元の公民館に提供されたほか、横浜、神戸、広島などから YMCA のスタッフが応援に来られていて、ボランティアセンターとしての役割を果たしており、地域住民の方にお風呂を提供したりなどされています。

YMCA 保育園の子供たちに対しては、震災を契機に行動が荒くなったりしたため、外で遊ぶ機会や、道化師などプロによる癒しの機会を設けたりされているそうです。

《ワイズメンズクラブによる YMCA 支援》

熊本滞在時、教会で開催されていた熊本ジェーンズクラブの集まりに飛び入りで参加させていただきました。多くの YMCA 職員の方を招かれて、ワイズメンバーやメネットと共にお料理やお酒を囲んで歓談の機会を設けられ、震災支援の慰労会&励ます会を催されておりました。

被災されたメンバーの方々から震災当時の状況につき、スピーチをお聴きする時間もあり、どのようなご苦勞をされ、どのような思いを持たれたか、全員で共有することができました。会の中で募金箱が回され、集められた募金が YMCA の方に手渡されました。意義ある YMCA 支援の一つであると感じました。



被災されました方々には心よりお見舞い申し上げます。様々な角度からの息の長いサポートが必要であると思われました。ワイズメンズクラブによる支援活動が、今後より一層きめ細かく展開されることを願って止みません。

◇事業主任としての任期を終えるにあたり



YMCAservice・ユース事業主任 河合久美子

主任として西日本区各地を訪問させていただき、ワイズメンの皆様の、YMCAへの献身的なご奉仕や、ユースに対する温かい眼差しに心動かされた1年でした。そして熊本で発生した未曾有の災害への、各地でのYMCAと協働した迅速な行動に感銘を受けました。素晴らしい「Yサカアップ」を実現できた1年だったのではないのでしょうか。YMCAと共に歩む私達の、熱い想いや深い祈りの気持ちは尊く、よりよい社会を築く礎となるのに相違ありません。1年間のご協力に、深く心から感謝申し上げます。



地域奉仕・環境事業主任 川上孝司

今期地域奉仕環境主任として各クラブの皆様の活動のお力になりたい。そのことが私の思いでした。そんな思いを遠藤理事の大きな心で支えていただき安心して活動させていただきました。私のにとって地域奉仕・環境事業の意味を自分自身の中で真剣に考える大切な一年でありました。この地球に生きる人々がその地域の環境の変化また大自然の大きなうねりの中お互いに国は違えど助け合い生きていく、これこそが地域奉仕・環境事業の大きな意味ではないかと考えさせられる一年でした。西日本区の皆さん1年間本当にありがとうございました



EMC事業主任 小野勅紘

西日本区の皆様、今期1年間多くの部、クラブを訪問し、入会式、部会、評議会、EMCシンポジウム、また多くのクラブの例会にも臨席させていただき、新鮮な1年でした。今期掲げました増員計画、特にドロップ対策には、まだその途上ですが、長期的継続的活動において次期以降にも引き継いで行きたいと思えます。皆様には多くの励ましや、ご意見をお聞きして、各部、各クラブの取り組みに勇気を戴きました。ありがとうございました。



国際・交流事業主任 中井信一

この1年、沢山のワイズメンズクラブ関係を中心に小生なりの“交流”を心掛けました。ワイズ活動を含めワクワクする1年を過ごす事が出来ました。ご理解とご支援を頂きました皆様に心より感謝を申し上げます。特に、DBC/IBCの締結式も4件執り行って頂きました。皆様のお蔭で遠藤理事の夢を叶えて頂きました。西日本区大会、国際大会@台湾で皆さまとお会い出来るのを楽しみにしています。引き続き、交流を楽しみましょう！！有難うございました。



メネット事業主任 遠藤典子

ワイズメン・メネットの皆様、今期メネット事業に暖かいご支援とご協力を頂きまして有難うございました。この一年は私の人生の中で一番充実した時間とございました。皆様の暖かいお気持ちに支えられて無事、終えられそうでございます。あと1ヶ月、皆様とご一緒に頑張りたいと思えますのでお付き合いの程、宜しく願いいたします。

第19回西日本区大会でお会いしましょう！



6月の強調月間 評価・計画

目標に向かって突き進めましたでしょうか。出来なかったことは次年度に頑張りましょう。出来たことは褒めましょう。

遠藤 通寛理事(大阪泉北クラブ)



今月の聖句

6月 聖書

天の国は次のようにたとえられる。

商人が良い真珠を探している。高価な真珠を一つ見つけると、出かけて行って持ち物をすっかり売り払い、それを買う。(マタイによる福音書 13章 45~46節)

聖句黙想

神様の心に敵う正しい行いが生きている所は、何に似ているのだろう。

マタイ福音書は弟子の実践を大切にしています。天国の説明ではなく、宝を見つけたなら自分のすべてを投げ打ってでも、手に入れる為に生きよというのです。旧約聖書では「知恵」が宝や真珠に例えられている所があります。転じて新約では、イエス・キリストの真実に倣えと言う事でしょうか。真珠はその身に入った異物を、涙をもって包みこんだ長い時間を連想させます。長い苦しみが真珠に変わるとしたら、未来に希望があります。ワイズ活動も、長い尺度で宝を生み出す働きをしたいと願う今です。

西日本区チャプレン 江見 淑子

江見チャプレンには1年間聖句を選出いただき、ありがとうございました。

編集後記

1年間、拙い編集ではありましたが、お読みいただきましてありがとうございました。振り返りましたら皆様の叱咤、叱咤・・・激励で過ごしてまいりました。少しは皆様のお役に立てたかと自問しております。毎月「理事通信読みました。ありがとう」のメールを戴きまして本当に嬉しく思い、明日への前進の糧になりました。感謝申し上げます。2015-2016 理事通信、これにて最終とさせていただきますが、理事事務局一同よりこの1年間の皆様の暖かいご支援に、改めて御礼申し上げます。

事務局長：山田理学、事務局員：鉄谷明、事務局員：猪瀬正雄



第19回西日本区大会にご参加の皆様へ(最終報)

第19回西日本区大会にご参加の皆様、いかがお過ごしでしょうか。
大会開催まであとわずかとなりました。
この度、大会にご参加いただき皆様への最終報をお送りいたします。
記載内容をご確認いただき、お間違えのないようお集まりください。
元気な皆様とお会い出来ますこと、阪和部メンバー同心よりお待ちしております。

大会プログラム

6月	プログラム	時間	会場
24日(金)	前夜祭	18:00~20:00	ホテルニューオータニ 2階 鳳凰の間
25日(土)	役員会	9:00~10:00	ツツ21MID 7F- 4階 3会議室
	準備役員会	9:00~10:00	ツツ21MID 7F- 4階 4会議室
	代議員会	10:30~12:00	ツツ21MID 7F- 20階 8会議室
	元理事懇談会	11:00~12:00	ツツ21MID 7F- 20階 6会議室
	メネットアワー	10:30~12:00	ツツ21MID 7F- 20階 9会議室
	連絡主事の会	10:30~12:00	ツツ21MID 7F- 4階 5会議室
	大会 第1日	13:00~17:30	松下IMPホール
	懇親会	19:00~21:00	ホテルニューオータニ 2階 鳳凰の間
	フェロシップアワー	21:15~22:30	ホテルニューオータニ 18階 スカイラウンジ
26日(日)	大会 第2日	8:15~12:00	松下IMPホール

第19回西日本区大会 実行委員会 実行委員長 中井 正博

ホストクラブ 大阪泉北クラブ/大阪サウスクラブ

協カクラブ 和歌山クラブ/奈良クラブ/大阪堺クラブ/大阪河内クラブ/
大阪長野クラブ/和歌山紀の川クラブ

1. 会場案内

6月24日（金）の前夜祭は各自でホテルニューオータニまでお越しください。

25日（土）午前開催の会議にご参加の皆様は、JR 京橋駅西口又は京阪京橋駅片町口より連絡橋（大阪城京橋プロムナード）をご利用のうえ、ツイン21MIDタワーにお越しください。（徒歩約7～8分）

大会よりご参加の皆様は、JR 大阪城公園駅より大阪城ホール前の橋を渡ります。

クロークご利用の場合は先にホテルニューオータニ2階クロークに手荷物を預け、会場（松下IMPホール）にお越しください。[下記3参照]（ホテルまで徒歩約6～7分）

クロークの利用がない場合は、松下IMPビル（松下IMPホール）を目指してください。

地下鉄長堀鶴見緑地線ご利用の皆様は、大阪城ビジネスパーク駅改札を出て、4番出口よりお越しください。（徒歩約2分）

2. 受付場所

①前夜祭にご参加の皆様 前夜祭会場

②役員会、準備役員会、連絡主事の会にご参加の皆様 ツイン21MIDタワー 4階

③代議員会、元理事懇談会、メネットアワーにご参加の皆様 ツイン21MIDタワー 20階

④大会からご参加の皆様 松下IMPホール

※上記以外の時間帯からご参加の皆様は、参加時に会場にてお問い合わせください。

3. クローク

大会会場の松下IMPホールはクローク対応できるスペースに限りがあります。

大会1日目は、できるだけ懇親会会場のホテルニューオータニ2階クロークをご利用ください。

大会開始前の12:00～13:00でお預かりをし、一旦施錠いたします。

懇親会開始前の17:45～再び利用可能となります。

大会2日目は、松下IMPホール入口にてお預かりいたします。係りがご案内いたします。

4. 駐車場

会場周辺の有料駐車場を各自でご利用ください。

5. キャンセル

6月1日以降のキャンセルは、クラブ単位でFAXにてオフィシャルエージェントまでお知らせください。

尚、返金は致しかねますのでご了承ください。（代理の方の出席等でご対応ください。）

6. アピール用チラシ等

今回の大会は、プログラムの都合上、懇親会でのアピールタイムを設けておりません。

アピール用のチラシに関しては、**6月11日（土）**までに下記にお送りいただければ、まとめてご参加の皆様へ配布いたします。

送付先 〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町9-52

大阪南YMCA 第19回西日本区大会実行委員会

※送付先への電話連絡はご遠慮ください。

7. その他

季節的に、気温がかなり高くなることが予想されます。

熱中症予防のためにも、衣類による体温調整、水分補給を心掛けていただき、ご自身の健康管理にご留意頂きますようお願い申し上げます。